

“これから輸出を始めたい”または“輸出拡大”をお考えの生産者の皆様へ

輸出の芽

いぶき

[総括編]
Vol.16



農林中央金庫

2018年度

農林中央金庫 輸出支援開催報告

CONTENTS

2018年度農林中央金庫
輸出支援開催報告 1

参加者レポート

Food & Hotel Asia 2018 3

Food Taipei2018 4

Hong Kong Food Expo2018 5

沖縄大交易会 6

輸出セミナーレポート 8

東京／大阪

輸出実務の基礎知識

なるほど、そういうことか！

急増する訪日外国人観光客に人気の産物、

お土産にすることで地域ブランド化 9

農林中央金庫

輸出支援メニューのご案内... 10

農林中央金庫では、輸出を目指す会員・農林漁業者等が一步步ずつ着実に取り組めるよう、パッケージ化した輸出サポートプランを提供してきたところです。2018年度は、これまでに提供した各種輸出支援施策を踏襲しながらも、各施策にご参加いただいた方から寄せられた声を踏まえ、より深く、実践に活かせる内容へとバージョンアップを図り、更なる輸出促進への取り組みに努めました。

生産者独自で
輸出に取り組む

現地バイヤーとの
商談機会提供

輸出実務の
ノウハウを提供

生産者への
情報提供

輸出広報物 「輸出の芽」の配布



2018年度は、アジア圏で日本産品が多く輸出している3カ国に焦点を絞り、シンガポール編・香港編・台湾編を掲載しました。従来のバイヤー・輸出に取組む生産者のインタビューに加え、初めて輸出される方にもわかりやすい各国の販路開拓MAPや輸出実務に繋がる基礎知識内容を掲載し、四半期毎に発刊しました。

輸出セミナーの 開催



輸出支援ノウハウの提供に加え、輸出に取組む実需者（輸出商社）を招き、リアリティのある講演を主としたカリキュラムを組み、東京と大阪の2大都市で開催いたしました。

沖縄大交易会の 参加



昨年度に続き、国内で東南アジアを中心とした海外バイヤーと商談できる場として、事前マッチング型の国内最大規模の「食」をテーマとした国際食品商談会「沖縄大交易会」への参加招致と出展料の全額補助を実施しました。結果、多くの事業者から参加希望の申込があり、26団体・社が参加しました。

海外見本市への 出展



今年度は、従来の「香港フード・エキスポ」、台湾「フード台北」以外に、シンガポールで2年に一度開催される「フード&ホテルアジア」への出展支援を実施しました。「フード&ホテルアジア」へは計4団体・社、「フード台北」へは計7団体・社を招聘し、出展しました。今年度は「香港フード・エキスポ」へはジャパンパビリオン枠での参加ではなく、現地主催者である香港貿易発展局が提供する出展枠にて9団体・社を招聘し、出展しました。

2019年度農林中央金庫輸出支援年間スケジュール

2019年

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2020年

1月

2月

3月

4月

5月

7月末輸出の芽VOL.17発刊予定

9月5日～6日海外商談会〈香港〉

10月17日～18日海外商談会〈マレーシア〉
10月末輸出の芽VOL.18発刊予定

11月14日～15日沖縄大交易会

12月5日～6日海外商談会〈台湾〉

1月末輸出の芽VOL.19発刊予定

2月20日～21日海外商談会〈香港〉

3月末輸出の芽VOL.20発刊予定



Food & Hotel Asia 2018

2018年4月24日～4月27日に、シンガポールのチャンギ空港付近で開催されたアジア最大級の国際総合食品見本市「フード&ホテルアジア」にJA、農業法人等の計4団体・社を招致し、ジェトロのジャパンパビリオン内に出席しました。本見本市は2年に一度開催され、会期中はシンガポールのバイヤーのみならずアジア各国からのバイヤーが多く来場しました。各出展者とも多数の商談を実現できたことに加え、バイヤーを通じて多くのマーケット情報を得ることができました。

会社名

商品

商談結果

株式会社東平商会

みしまコロケ、鯖さつま揚げ
いとうナゲット

全国農業協同組合連合会

ジュース全般、お米のミルク
おこめん、SU+（スープラス）

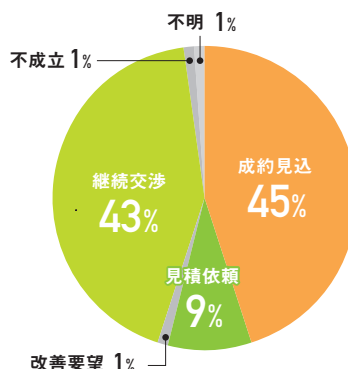
株式会社アジチファーム

米粉のガトーショコラ
米粉のバイクドソイスティック
日本米、あきさかり

株式会社下堂園

下堂園吟醸茶カワナベグリーン
下堂園吟醸茶タルミズブラウン

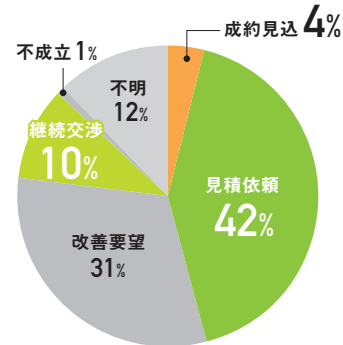
サプライヤーアンケート



商談結果の成果: 合計118商談

※総商談件数の差異は、サプライヤーアンケート未提出先があったことによるもの

バイヤーアンケート



商談結果の成果: 合計179商談



参加者インタビュー

株式会社 東平商会

Data

所在地 静岡県駿東郡長泉町下土狩72-1
設立 1957年7月
代表者 代表取締役社長 山本 雅弘
従業員数 164人（2019年2月末現在）
事業内容 食品開発・卸売、工場作業請負、
産業資材製造販売、土木工事設計施工

アンケート回答者

代表取締役社長
山本 雅弘 様



見本市に参加をすることになったきっかけ

2017年10月開催のFOOD JAPAN 2017（シンガポール）に静岡県商工会連合会からの呼びかけで初出展。その際にこのイベントのことを知り、出展することとなりました。

見本市に参加をした感想

FOOD JAPANと異なり、世界各国からの出展者が集まる大規模な展示会でした。来場者数も多く、現地のディストリビューター候補となる企業、スーパー、飲食店等と有意義な商談ができました。

見本市の参加を経験して、事前に準備をして役立ったこと

弊社のシンガポールでの取引を図と文字で説明書を作成し、配布しました。現地に駐在所を置くことなく、スムーズに取引できるよう準備しました。お客様に簡潔に商品アピールすることができました。

見本市の参加を経験して、取り組んでおけばよかった準備・工夫等

有力なディストリビューターは限られるので、事前にディストリビューター候補となる企業について調査しておけば、商流作りももう少しスムーズに進んだかもしれません。

今後の課題および展開

現地のディストリビューターも決まり、シンガポール初となる、現金不要のスーパーマーケット「honestbee」に「いとうナゲット」の市販がスタートしました。まだ取引規模は少額なので、今後継続的に商談、プロモーション、見本市への出展を行い、販路を拡大していくつもりです。

※ディストリビューターとは卸売業者の事です。



Food Taipei 2018

2018年6月27日～6月30日に、台湾の台北市で開催された国際総合食品見本市「フード台北」にJA、農業法人等の計7団体・社を招致し、ジェトロのジャパンパビリオン内に出席しました。本見本市は台湾でも認知度が高く、多くの台湾バイヤーが来場し、各出展社とも多数の商談をしました。

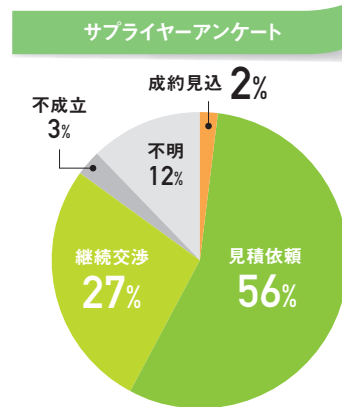
それに加えて、バイヤーを通じて台湾マーケットの情報を取得することができました。

会社名

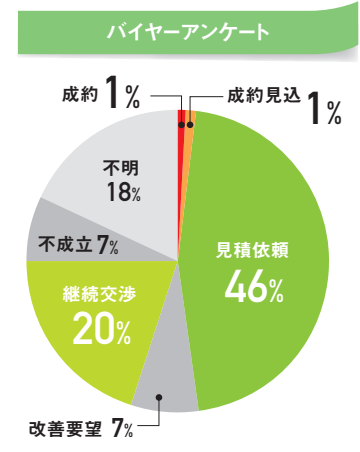
商品

十勝清水町農業協同組合	焙煎あずき茶、黒にんにく、あずき粉
JA全農インターナショナル	はまなす牛、魚沼産コシヒカリ
株式会社みやぎ農園	手づくりマヨネーズプレミアム 手づくりマヨネーズプレーン 手づくりマヨネーズゴーヤー 手づくりマヨネーズ唐辛子
ハラダ製茶販売株式会社	やぶ北ブレンド（徳用ティーバッグ） Premium Matcha Latte、4種青汁
株式会社沖縄海星物産	洗いもずく
株式会社丸善	魚河岸ソーセージ鮭、デラックスハム
ちゅらゆーな株式会社	早摘み生もずく

商談結果



商談結果の成果: 合計239商談



商談結果の成果: 合計239商談



参加者インタビュー

株式会社 丸善

Data

所在地 東京都台東区上野3-5-9
設立 1956年4月2日
代表者 代表取締役社長 原 壮太
従業員数 330名
事業内容 食品製造・販売（各種練製品・レトルト食品）

アンケート回答者

執行役員広域営業部長
立原 浩 様



見本市に参加をすることになったきっかけ

市場開拓のためです。弊社輸出実績国としては香港（澳門含む）であり、香港に似た文化圏であり、かつ香港に比べて人口が多く親日国の台湾市場を狙うためにフード台北に出展する運びとなりました。

見本市に参加をした感想

メイン商品のフィッシュソーセージを焼いて食べさせたことは大変好評でした。また現地パートナー先の支援もあり、開催期間中は滞りなく商品を紹介することができました。

見本市の参加を経験して、事前に準備をして役立ったこと

現地パートナー先スタッフの応援もあり、会期中お客様に商品説明や商談ができました。また商品パンフレットを中国語版（繁体字）で作成したことが役に立ちました。

見本市の参加を経験して、取り組んでおけばよかった準備・工夫等

フィッシュソーセージは台湾では類似品が無く、購入判断に迷われるバイヤーも存在しました。まさにマーケットを構築するための戦略スキームが必要だと感じました。また、フィッシュソーセージは日本で生まれた商品だけにもっと歴史観をアピールすべきと感じました。

今後の課題および展開

台湾市場では水産加工品の消費量は多いが、フィッシュソーセージの認知度が全くありません。また、そのまま食べる食文化が無いため、今後フィッシュソーセージをどのようにアピールするかが課題です。その他の課題としては賞味期限と生産地規制問題です。



Hong Kong Food Expo 2018

2018年8月16日～8月18日に、国際総合食品見本市「香港フード・エキスポ2018」が開催され、今年度は現地主催者である香港貿易発展局が提供するトレードホールの出展枠にて出展し9団体・社が参加しました。会期中は香港のバイヤーはもちろん、海外各国から多くのバイヤーが来場したことで、中国、シンガポール等のバイヤーとも商談することができました。また、見本市の最終日には一般消費者の来場も可能でしたので、販売もでき、消費者の生の声、反応を得ることもできました。

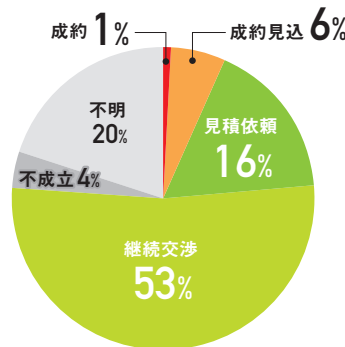
会社名

商品

商談結果

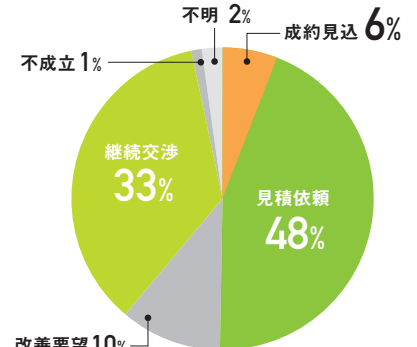
全国農業協同組合連合会	お米のミルク、SU+ブルーベリー黒酢 サラダチキン プレーン、きんかん茶
周桑農業協同組合	おこめん（平麺・細麺）、周蔵（焼酎）
株式会社アジチファーム	お米のガトーショコラ お米の豆乳チーズケーキ 日本米 あさきかり
株式会社下堂園	下堂園吟醸茶カワナベグリーン 下堂園吟醸茶タルミズブラウン
ボーソー油脂株式会社	米油（600g）、米油（1350g）
株式会社岡崎屋	純黒にんにく 6個入
株式会社兼平製麺所	ノングルテン純米めん ノングルテン純米冷めん 業務用純米めん （細切り・中切り・太切り・ひつまみ）
株式会社関東地区昔がえりの会	小松菜、青ネギ
株式会社乾武農園	二十一穀米スティック、スーパーフード9 コラーゲン入り十六穀米 スーパーフードライスボール

サプライヤーアンケート



商談結果の成果: 合計217商談

バイヤーアンケート



商談結果の成果: 合計217商談



参加者インタビュー

周桑農業協同組合

Data

所在地 西条市丹原町池田1701番地1
設立 1965年（昭和40年）10月
代表者 代表理事組合長 山内 謙治
従業員数 320名
事業内容 愛媛県の米どころ西条市西部 周桑平野（約3000ha）のほぼ中央に本所があります。農産物は米・麦・きゅうり・アスパラ・いちごを中心に販売高48億円（直販所を含む）の中核農協です。

アンケート回答者

生活部長
竹田 博之 様



見本市に参加をすることになったきっかけ

農林中央金庫や愛媛県信連地域振興部より、「輸出の登竜門」である香港最大級の国際総合食品見本市「香港フードエキスポ2018」の紹介を受け、昨年に続き2年連続で参加しました。愛媛県周桑産のヒノヒカリを原料とした米粉麺「おこめん」と、はだか麦を原料とした焼酎「周蔵」の販路拡大を日本のみならず、香港をはじめ海外への輸出を検討し、商品目の販路拡大に向けた商談を目的に参加することとしました。

見本市に参加をした感想

おこめん アレルギーフリーやお米でできていて、料理方法のバリエーションが豊富な点を宣伝し、海外の料理人やバイヤーに興味を持ってもらいました。

周蔵 日本一のはだか麦と、日本銘水100に選ばれた「西条うちめき水」で作ったのはだか麦焼酎の香ばしい香りとパンチ力を宣伝し、海外のバイヤーに好評を得ました。本商談会に2年連続で出展したことにより、現地の卸商社との商談が成約しました。

見本市の参加を経験して、事前に準備をして役立ったこと

海外バイヤー向けにJA周桑の所在地や、組織概要、県産品の紹介資料を提供したほか、試食・試飲を提供しながら英語に翻訳したレシピも配布するなど工夫し、海外バイヤーや消費者に商品を理解してもらうように準備したことです。

見本市の参加を経験して、取り組んでおけばよかった準備、工夫等

会期中に農林中央金庫からの紹介で現地のバイヤー1社と訪問商談しましたが、香港の愛媛県人会組織やJAグループ組織のネットワークを活用して、事前に情報収集し、もっと積極的に訪問商談に取り組むべきでした。

今後の課題および展開

農林中央金庫香港事務所等のネットワークを通じ、県下の産品・加工品の販路を拡大したいと考えています。



沖縄大交易会

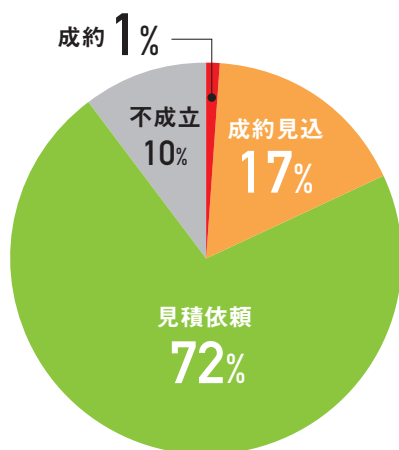
2018年11月29日～11月30日に沖縄で開催された、海外バイヤーが多数参加する国内最大級の事前アポイント型個別商談会「沖縄大交易会」に参加者招致を実施し、出展しました。昨年度よりも10社多い、26社・団体が参加し、成約・成約見込み53件、継続商談224件の実績を上げました。

会社名	商品
株式会社レッドアップ	トマト（麗容）、ミニトマト（キャロル7・千果）・加工品（トマトピューレ、トマトディップ、トマトケチャップ、トマトスパイス、トマトのタバスコ）
有限会社川口納豆	納豆、納豆煎茶、乾燥納豆、粉末納豆 納豆ふりかけ
株式会社マルミツサンヨー	九州旬食館、日本の果実、フルーツゼリー
農事組合法人秋香園	ぶなしめじ、えのき、菌床椎茸、エリンギ その他希少種きのこ
株式会社エージーシー	黒にんにく
株式会社峯樹木園	桑の葉・実関連商品（お茶・ジュース・ジャム） 国産冬虫夏草
株式会社イチカラ畑	そばの実、そば
株式会社東平商会	いとうナゲット
西田精麦株式会社	九州大麦グラノーラ 他
口ハス農園株式会社	有機野菜、無添加水産加工品
株式会社空土	お米、お茶
こと京野菜株式会社	九条ネギ、京野菜、冷凍野菜製品
株式会社大地のいのち	干し芋、焼き芋

会社名	商品
JA京都やましろ	宇治抹茶、玉露、煎茶、ほうじ茶、グリーンティ
株式会社堀内果実園	あんぱ柿、ドライフルーツ、ジャム等、果実加工品
JA丹波ささやま	丹波篠山黒豆、丹波篠山黒豆煮、大納言煮豆、 丹波黒しほり納豆、丹波黒きなこ、丹波篠山の芋
JAおきなわ	加工商品（JAおきなわシークワサー）
株式会社 アグリ・コーポレーション	おしゃぶ（ベビーフード） わんちゃんのおやつ（ペットフード） あんのう芋、むらさき芋
JAおうみ富士	メロン、いちご（加工品含む）、もち麦
宇治の露製茶株式会社	量販店向け日本茶（リーフ・TB・抹茶商品） レストラン向け業務用日本茶（リーフ・TB・抹茶商品）
JA島根	西条柿、加工品（はとむぎ加工品等）
農事組合法人明るい農村	玄米麺
室町酒蔵株式会社	清酒、リキュール
果楽株式会社	果物加工商品（水熟桃、丸ごと瓶桃、水熟マンゴー、水熟柿）
JA佐賀	うれしの茶葉ペースト、グリーンアスパラ ガス加工品他
有限会社ぶどうばたけ	生食葡萄、レーズン、ジュース、ワイン

商談結果

サプライヤーアンケート



商談結果の成果: 合計313商談





参加者インタビュー ①



株式会社イチカラ畑

Data

所在地 新潟県小千谷市桜町5145-7
設立 2013年4月1日
代表者 代表取締役社長 吉田 勇童
従業員数 5名(季節雇用4名)
事業内容 農業

アンケート回答者

代表取締役社長
吉田 勇童 様



＞ 沖縄大交易会に参加をすることになったきっかけ

近年、輸出に前向きに取り組んでいたところ、新潟県信農連から本商談会のご紹介をいただいたことにより参加となりました。

＞ 沖縄大交易会に参加をした感想

手厚いサポートと、商談数の多さに他の商談会との違いを感じました。

＞ 沖縄大交易会の参加を経験して、事前に準備をして役立ったこと

商談先、商談希望先への直接メールで、ターゲットや、ニーズを絞ることができました。

＞ 沖縄大交易会の参加を経験して、 取り組んでおけばよかった準備・工夫等

サンプルの個数が少し足りませんでした。後日商談先にサンプルを送りましたが、対応が遅くなりましたので、次回はその場で渡せるように準備したいと思います。

＞ 今後の課題および展開

商談を経て、台湾、シンガポールの流通やそばの需要など、どんな健康食品がニーズに合うか少し理解できました。商談会出展後は、現地バイヤーと帳合取引のあるエクスポートからの小ロットオーダーは増えましたが、現地バイヤーからの直接の連絡が減り、商談に結びつかない事もあると感じました。



参加者インタビュー ②



室町酒造株式会社

Data

所在地 岡山県赤磐市西中1342-1
設立 1951年(昭和26年)6月
代表者 代表取締役社長 花房 満
従業員数 10名
事業内容 酒類製造業

アンケート回答者

代表取締役社長
花房 満 様



＞ 沖縄大交易会に参加をすることになったきっかけ

岡山県産の雄町米や果物を用いた酒造りを行っている中、2017年シンガポールのチャンギ空港内で展開する全農ショップにリキュールが採用となり、さらに販路拡大を目指すきっかけとして大交易会を紹介いただきました。

＞ 沖縄大交易会に参加をした感想

事前マッチング形式で、自社ブースにバイヤー側から来ていただけるので、国内の他の商談会の様に、商品展示ブースから商談スペースに移動することなく、サンプルを提示しながら商談を進めることができたため、画期的な商談会だと感じました。

＞ 沖縄大交易会の参加を経験して、事前に準備をして役立ったこと

大交易会参加者のみが利用可能なシステムを介して、当日に組まれた商談先の会社情報を事前に調査することができました。それにより、商談相手のニーズがわかり、各社に合った資料を準備して商談に臨むことができました。

＞ 沖縄大交易会の参加を経験して、 取り組んでおけばよかった準備・工夫等

持ち込んだ清酒やリキュールは、どれもバイヤーに紹介したい商品のため、限られた展示スペースで何をアピールしたいのか強調できませんでした。次回は商品の絞込みを行う必要があると感じました。

＞ 今後の課題および展開

商談先へのアプローチ継続は勿論のこと、事前商談会やフリー商談会等で来場したバイヤーに対し、簡単なリーフレットではなく、一部英文表記の会社概要・商品一覧の総合パンフレットを作成しておく必要あると感じました。

輸出セミナー レポート

東京 大阪

輸出セミナーとは輸出に取り組む生産者向けに開催し、アジアをターゲットとした販路開拓の支援プログラムです。

2018年度は東京・大阪で開催しました。

近畿地区農水産物輸出セミナー

開催時期 2018年7月4日(水) 13:00～15:00

テーマ 農林水産物を輸出する際の
留意事項について

開催場所 淀屋橋odona 農林中央金庫大阪支店

参加人数 13名

Program

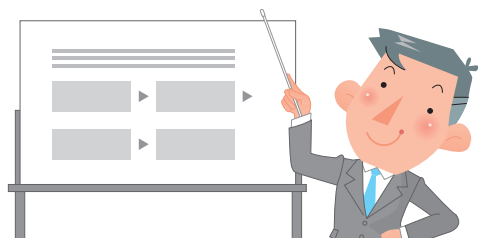
農水産物を輸出する際の留意事項について
展示会の準備から取引まで

講演者 株式会社ITADAKIMASU FINE FOOD
代表取締役副社長 高橋 啓輔 氏



農林中央金庫大阪支店内で近畿地区の農水産業者等総勢13名程度を集め、「近畿地区農水産物輸出セミナー」を開催しました。セミナーは、輸出ニーズはあるがノウハウがなく、輸出への第一歩が踏み出せていない農水産業者等をターゲットに、輸出に意欲のある生産者の裾野拡大を図る目的で開催した。

(株)ITADAKIMASU FINE FOODの高橋啓輔代表取締役副社長から、「農水産物を輸出する際の留意事項について 展示会の準備から取引まで」と題し、輸出を行うにあたっての事前準備、展示会・商談会への出展、取引決定後の実務等について解説がありました。セミナー終了後、参加者からは「実務に即した内容で分かりやすかった」「海外バイヤーのニーズを知ることができた」等の感想があり、好評を博しました。



日本農林水産物・食品輸出セミナー

開催時期 2019年3月11日(月) 13:30～17:30

テーマ リアリティのある輸出セミナー

開催場所 JAビル 参加人数 27名

Program

海外展開に向けた商談スキルアップセミナー

講演者 株式会社ケングローバル
代表取締役 岡部 健太郎 氏

訪日客から広げる海外販路開拓の取り組み

講演者 株式会社JTB 法人事業本部 事業推進部
地域交流事業推進担当部長 西川 太郎 氏

実体験から見る海外販路開拓の鍵

講演者 ブレンドファーム株式会社
専務取締役 白岩 千尋 氏

大切な生産物を海外まで守ります

～農産物輸出におけるリスク管理～

講演者 共栄火災海上保険株式会社農林水産部
海上営業課長 鈴木 雅士 氏



今年度は、前半に貿易統計、輸出先国のターゲット選定方法等の輸出の基礎知識にはじまり、近年増えている訪日客を対象とした海外販路開拓の取り組みについての最新情報を各講師より講演いただきました。後半は、実体験に基づく輸出の取組み、国際輸送時のリスク管理について、各実務家の視点から講演いただきました。

参加者からは「インバウンドから海外販路拡大へ繋げるために必要なことがわかり、とても参考になった」「今後、輸出に取り組むにあたり、ターゲットの絞り込み等の参考になる」「実体験により語られる話は、非常に説得力があり、興味深かった」との声が寄せられました。

なるほど、 そういうことか！

急増する訪日外国人観光客に人気の産物

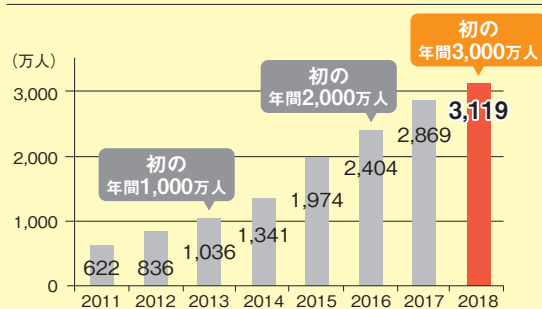
お土産にすることで 地域ブランド化

急増する訪日外国人観光客、日本を旅する目的は？

最近、都市圏以外でもよく姿を見かける訪日外国人観光客。その数は昨年初めて3,000万人を突破しました。政府が2003年に「ビジットジャパンキャンペーン」として誘致に動き始めてから15年、**500万人から3,000万人まで6倍に増加**しましたが、直近5年間の増加推移は驚異的です。また政府は2030年までに6,000万人を目指して観光施策を展開しているので、まだまだ増加傾向にあります。

国籍別で見ると、距離が近く値段の安いLCCも豊富な近隣アジア諸国からが8割以上を占めています。特に主要4地域（中国、韓国、台湾、香港）を中心に年に何度も日本を訪問する「リピーター」が増加し、大都市圏以外へさまざまな目的をもって旅行しています。その訪問目的の筆頭に挙げられるのが日本の食であり「**日本のおいしい産物を旬にその産地で食べる**」ため、日本人観光客と同じように日本各地を訪問し始めているのです。

訪日外国人観光客の推移



資料：年別訪日外国人旅行者数の推移（2003年～2018年12月18日） 出展：JNTO

訪日外国人観光客の声

海外でうける日本産高級フルーツ

人気ランキング



- これまで食べていたイチゴは酸っぱいのでアイスクリームやクリームを足すが、日本のイチゴはそのまま食べておいしい！（タイ）
- 香港や台湾に次いでタイでも人気。福岡県産「あまおう」等はブランドとして浸透している（香港、台湾、タイ）



- 文字入りの「むつ」や赤くて大玉の「世界一」は贈答用に大人気（中国・台湾）
- 私が「ふじ」を食べたのは6年前で、それ以上のものは今でもない（イギリス）



- 日本人がつくる高級メロンは綺麗な形と甘さを極限まで追求したものだ！（アメリカ）
- 「もっとないのか？ほかにもあるだろ？」高級果実として中東への輸出が急増中。現地の富裕層がターゲット（オマーン）



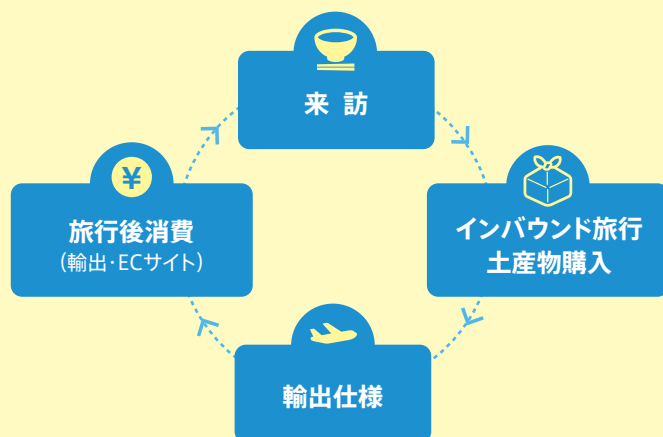
- シーズンになるとレストランで「fuyu」（富有柿）がサラダや肉料理の付け合わせとして出される（アメリカ）
- 熟して柔らかくなると桃のような触感になる。皮も食べられるし捨てる場所がない最高のフルーツ（イギリス）

出所：JTB関西ツーリストインフォメーションセンタースタッフによる（ヒアリング）

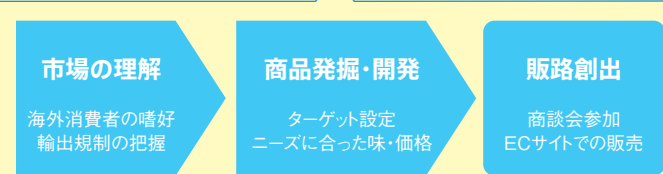
食産品の輸出拡大と 訪日外国人観光客誘致の好循環づくり

「育まれた産地」を最大の付加価値とし、
訪日観光の機会を最大限に活用する

日本食を食べてもらう、知ってもらう機会は輸出だけではありません。来日して本場の日本で食べて美味しかった産品を自国に帰ってからも購入できるように、「地域産品の輸出・販売」と「訪日外国人観光客向けコンテンツづくり」を一体的に取り組み、その仕組みを推進することで、インバウンドから継続的な輸出へつなげる好循環が期待されます。



輸出仕様に向けて



出典：2019年3月（株）JTB「訪日客から広げる海外販路開拓の取り組み」

輸出に取り組むために必要な機能を弊庫国内外拠点と連携のうえ、一気通貫で提供してまいります。



事前準備

1 目的・自社の強み・市場を考える

＞ 情報誌「輸出の芽」 NEW

実例やデータを基に海外展開の目的・目標を明確にするために必要な情報を掲載

発刊日 四半期毎 (2019年7・10月、2020年1・3月) (予定)

対象者 JA・JF・農業者・農業法人・その他国産農畜水産物を取扱う企業全般等

2 海外ビジネスを組立てる

＞ 輸出診断 NEW

輸出に適した産品・商品仕様になっているか等、専門家(農水省グローバル・ファーマーズ・プロジェクト等※)と連携のうえ支援いたします

実施日 随時 詳細は別途通知します

対象者 輸出ニーズがあり、系統団体と取引がある(可能性がある) 農業法人、国産農畜水産物を取扱う法人等
※農水省が無料で輸出可能性を診断 (URL: www.gfp1.maff.go.jp)



商談

3 適切な相手と商談する

＞ 商談会 (アジア・沖縄)

事前マッチング形式の海外バイヤーとの商談機会
(2日間で約8～10商談/社)

対象者 商談ができるレベルまで事前準備を行える
JA・JF・農業者・農業法人等

Japanese Foods Premium Trade Fair

実施日 ① 香港 9月5・6日 ② マレーシア 10月17・18日
③ 台湾 12月5・6日 ④ 香港 2月20・21日

出展料 18万円 (税別)

沖縄大交易会

実施日 沖縄 11月14、15日

出展料 9万円 (税別)

＞ 海外個別マッチング※

系統団体・取引先等を対象とした農林中央金庫海外拠点のネットワークを活用した海外販路開拓支援

※シンガポール・香港・北京・ニューヨーク・ロンドン



事後フォロー

4 商談フォロー

＞ 商談後の現地バイヤーフォロー NEW

輸出ニーズがある系統団体・取引先等を対象とした農林中央金庫海外拠点による現地バイヤーフォロー



5 定着に向けたプロモーション

＞ フードショー NEW

Japanese Foods Premium Trade Fair (商談会と同日開催)

日本食に関心のある現地消費者を対象とした
試食提供・販売会

実施日 ① 香港 9月6日 ② マレーシア 10月18日
③ 台湾 12月6日 ④ 香港 2月21日
各日19時半～

対象者 輸出ニーズがある(海外消費者に販売したい) JA・JF・農業者・農業法人等

出展料 12万円 (税別)

成約・販路拡大

輸出の芽

いぶき

[総括編]

Vol.16

農林中央金庫